My Dream

題材 My Dream （私の夢）は、小学校では、Hi, friends!2 「Lesson 8 What do you want to be?〔将来の夢〕」の単元で、中学校では New Horizon English Course2 「Unit 3 My Future Job 」もしくは、English course 3 「私の夢」で扱われている。

1 小学校での実践

（1） 単元名 What do you want to be? (Hi, friends!2 Lesson 8)

（2） 単元の目標

① コミュニケーションへの関心・意欲・態度

・積極的に自分の将来の夢について交流しようとする。

② 外国語への慣れ親しみ

・どのような職業に就きたいかを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。

③ 言語や文化に関する気付き

・世界には様々な夢をもつ同世代の子どもがいることを知り、英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して、言葉のおもしろさに気付く。

（3）単元の展開

	目　　標	主　な　活　動
1	様々な職業の言い方を知る。 doctor,cook,farmer,florist,singer, firefighter,soccer player,bus driver, cabin attendant,vet,zookeeper, comedian,baker,dentist,artist	○「ジェスチャークイズ」…ジェスチャーを見て、何の職業か当てる。 ○「キーワードゲーム」「ポインティングゲーム」…職業を表す語を聞いて、ペアでゲームをする。 ○「ビンゴゲーム」
2	様々な職業の言い方に慣れ親しみ、職業を表す語について英語と日本語の共通点に気付く。 What do you want to be?	○「カード取りゲーム」 ○「だれの夢か、考えよう」…音声教材を聞いて登場人物の就きたい職業とその理由を聞き取る。 ○「ラッキーカードゲーム」
3	就きたい職業について、尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 What do you want to be? I want to be a teacher.	○「ミッシングゲーム」…職業を表す語の特色を知り、日本の職業の特色についても考える。 ○「チェーンゲーム」…グループで列になり、就きたい職業を伝えていく。 ○「友だちに夢についてインタビューしよう」
4	世界には様々な夢をもつ同世代の子どもがいることに気付き、相手意識をもって自分の夢を紹介しようとする。	○「あなたの『夢宣言』をしよう」…グループ対抗で、クイズ形式で就きたい職業を紹介する。

（4）本時の展開（第１・３時）

① 使用教材　Hi,friends!2　Lesson8　ページ 38～40

② 単元名　What do you want to be?「わたしの夢　友だちの夢」

③ 本時の主眼　＜第１時＞中学校進学が近づいてきた子どもたちが、中学校での自分の夢を語り合うことを通して、自分の将来の進路にも関心をもち、様々な職業の英語の言い方を知る。

＜第３時＞様々な職業を表す英語に慣れ親しんだ子どもたちが、友だちと将来の夢をインタビューし合う活動を通して、尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

④本時の位置　全４時間中第１・３時

⑤本時の展開

段階	学習活動	○学級担任(HRT)の活動	●指導上のポイント
導入	1 あいさつをする。 2 友達と「How are you?」のあいさつを交わす。	○友だち(2boys and 2 girls)と「How are you?」の挨拶を交わす。	●HRT に挨拶に来た時は、Why?と理由も聞くようにする。

展開	3 ＜第１時＞ ①中学校での夢を発表する ②将来、就きたい職業を発表する ③ジェスチャークイズをする ④キーワードゲームをする ⑤ビンゴゲームをする	○体験入学を終えた児童に、中学校での夢を聞き、発表させる。 ○おとなになった時の夢を尋ねる。 ○様々な職業をジャスチャーで表現する ○キーワードゲームやビンゴゲームで、職業を表す様々な英語を聞いたり、言ったりさせる。	●中学校への期待を膨らませる。 ●班対抗でジャスチャーリレーをさせる。 ●巻末絵カード 16 枚を切り取り、机上に並べさせる。 ●ビンゴになった児童にカードを引かせて、単語を言わせる。
	3 ＜第３時＞ ①ミッシングゲームをする ②【Let's Chant】"What do you want to be?" をする ③チェーンゲームをする ④インタビューゲームをする	○ミッシングゲームで、職業を表す様々な英語の言い方を復習する。 ○リズムに合わせて歌いながら、職業を尋ねたり答えたりする表現をまねさせる。 ○チェーンゲームでその表現を使う。 ○友達と将来の夢をインタビューし合う。友達の夢でわかったことを発表させる。	●職業を表す単語を確認する ●CD をかける。"What do you want to be?""I want to be a ～" を大きな声でくり返させる。 ●友達と将来の夢を尋ね合い、理由も聞いたりしながら、その夢をカードにメモしていく。
まとめ	6 本時の振り返りをする。 7 あいさつをする。	○ふり返りカードに、友だちのよかったところや自分のよかったところを記入させ、発表させる。 ○児童の関わりのよさを伝える。	●書く時間を 5 分間は確保する。 ●児童の英語を使おうとする態度でよかったところや関わりのよさをほめる。

（５）児童の活動の様子

○第 1 時では導入段階で中学校生活の夢(文化祭や部活動、学年行事等)が多く語られ、将来の夢への関心を高めていた。たくさんの児童が自分の将来就きたい職業を発表し、それにかぶせて職業を表す英語を言ったり聞いたりしていた。16 の単語があったが、キーワードゲームやビンゴゲームを通して、絵を見たらすぐに言えるようになった。ビンゴゲームで、"I want to be a ～"と言いながらカードを裏返したり、ビンゴになった児童が前に出て、HRT の代わりに"I want to be a ～"と言ってカードを引いたりした。

○第 2 時では、「職業や夢を英語でしっかり言えたし、友だちにも『夢は何?』と英語で聞けたのでよかった」「ラッキーカードゲームの時に、相手や班の人に聞こえるように大きな声でしゃべれたのでよかった。友だちの将来の夢もしっかり聞き取れたのでよかった」「ゲームの時に Y 君がとても大きな声で言っていたのですごくいいなぁと思った。次から、これをまねしたい」等のゲーム活動の感想があった。第 1 時はゲーム活動自体の感想が多かったが、第 2 時以降は、ゲーム活動を通して自分や友だちのよさに目が向いていた。第 3 時では、"What do you want to be?""I want to be a ～"を使って、積極的に友だちにインタビューができ、ふり返りの場面で、初めて知った友だちの夢を紹介していた。

（６）考察

①体験入学をきっかけに、目前の中学校生活での夢から、自分が将来就きたい職業の夢まで興味が広がり、中学校進学を控えた児童にタイムリーな題材と活動である。16 枚の絵カードだけでなく、事前に児童が就きたい職業の調査をし、すべての児童が就きたい職業を英語で言いたい。ALT との TT であれば、その場ですぐに対応できるが、HRT のみの場合は特に準備が必要であろう。

②ゲーム活動を通して職業を表す英語に慣れ親しみ、それを使った「インタビューゲーム」等の Activity でコミュニケーション活動を行ったが、ゲーム活動のねらいと本時のねらいをよく吟味し、ゲームの楽しさだけでなく、「聞く」「考える」「関わる」活動をバランスよく取り入れたい。1 時間に扱うゲーム活動が多く、ゲームに時間を使い、HRT と児童、児童と児童の英語でのやりとり(interaction)が不足してしまった。「インタビューゲーム」もよく行う活動であるが、お互いに聞いて終わりでなく、インタビューの内容や聞き方、あるいはゲーム自体のアレンジも考えていく必要があろう。

２　中学校での実践

（１）単元名（題材）　　Unit3 「My Future Job」 (NEW HORIZON English Course 2)

（２）単元の目標

A　コミュニケーションへの関心・意欲・態度

①　不定詞を用いた文を使って，進んで発表したり，話したりしようとする。

②　自分の興味ある話題を見つけ，そのことについて，英語を使って表現しようとしている。

B　外国語表現の能力

①　不定詞を用いた文を使って話したり，書いたりすることができる。

② 既習文型やモデルの例文を使い，自分のことを相手に伝える英文を書くことができる。
C 外国語理解の能力
① 不定詞を用いた文を読んだり，聞いたりして，その意味を理解することができる。
D 言語や文化についての知識・理解
① 不定詞の副詞的用法や名詞的用法，形容詞的用法を正しく理解することができる。

（３）単元の計画

時限	学習活動	予想される生徒の意識（○）や姿（◎）と教師の支援（・）学習形態【 】	評　価
1	1 不定詞（名詞的用法）の形・意味・用法を理解し，表現する。	○to のあとは原形になるんだ。気を付けよう。 ○I want to～.で「～したい」って意味か。よく使いそう。 ◎新しい表現を覚えようと真剣にノートをとるだろう。 ・不定詞の名詞的用法について最もよく使われるであろう I want to～.を用いて理解を促す。【個人・ペア・全体】	観察 ワークシートの記述
2	1 不定詞（副詞的用法）の形・意味・用法を理解し，表現する。 2 教科書 p22 の本文を読んで内容を理解する。	○why?の答えとして使われているな。ということは理由なのかな。 ○「～するために」ってすごく使えそうだぞ。しっかり覚えよう。 ◎本文の内容を通して不定詞の副詞的用法の意味を理解するだろう。 ・I want to～.を表現したことについて理由を尋ねることで，「～するために」という意味の不定詞を用いて表現できるようにする。 ・教科書の本文の内容理解をオーラルインタラクションによって促し，新出表現は繰り返しの練習によって定着させる。【個人・ペア・全体】	観察 ワークシートの記述
3	1 不定詞（形容詞的用法）の形・意味・用法を理解し，表現する。 2 不定詞の３つの用法の復習をする。	○この使い方は少し難しいな。練習しよう。 ○後ろから説明する感じだな。 ○不定詞だから to のあとが原形なのは一緒だ。 ◎既習の不定詞の２つの用法との違いを意識するだろう。 ・I have ··· to ～. を「～すべき――がある」という表現として与え，パターンプラクティスを通して理解できるようにする。【個人・全体】 ○３つとも to の後ろが動詞の原形だということに気をつけよう。 ○I want to ～. とか I have ··· to ～.のように表現で覚えちゃったほうが良さそうだ。 ◎不定詞の３つの用法について大事なポイントに注目しながら理解を確認するだろう。 ・練習問題を解くことで不定詞の理解を確認できるようにする。【個人・全体】	観察 ワークシートの記述
4	1 英語で語られる教師の夢を聞く。 2 職業の英単語を練習する。 3 なりたい職業についてマッピングをする。	○先生って○○になりたいんだ。意外だな。 ○もう教師になってるんだし，無理じゃないかな。 ◎I want to ～. や I am going to ～. を使って語られる夢を全部ではないがところどころ聞き取れるだろう。 ・写真や実物を用いて興味を持たせる。【全体】 ○警察官って a police officer って言うんだ。自分がなりたいものだし，しっかり覚えておこう。 ◎自分がなりたいものを意識しながら練習するだろう。 ・生徒がなりたい職業を提示し，練習できるようにする。【全体】 ○警察官になって柔道を続けたいな。 ○医者，優しい，人を助ける。よし，イメージが膨らんできた。 ◎職業を中心に，したいことやその職業に対するイメージを書いていくだろう。 ・書き出せない生徒に声掛けをし，書き出すきっかけを与えたい。【個人】	観察 ワークシートの記述
5	1 マッピングでまとめたことを表現するための言語材料を整理する。	○したいことは全部 I want to ～. を使えば表せるな。 ○理由は to ～. って習ったけど，「～のために」だよな。「～だから」って言いたいときはどうやって言えばいいんだろう？ ◎今までに習った表現を思い出しながら，使えそうな表現をまとめていくだろう。 ・使えそうな表現をノートにまとめていくように伝える。【個人】	観察 ワークシートの記述
6	1 マッピングでまとめたことを表現するための言語材料を整理する。	○前回まとめてみたけど，もっと分かりやすくまとめてみよう。 ○～さん，使えそうな表現すごくたくさん見つけてる。教えてもらおう。 ◎友達と相談しながら使えそうな表現をまとめていくだろう。 ・友達と使えそうな表現を確認し合うように声掛けをすることでお互いに表現を増やせるようにする。【個人・ペア・グループ】	観察 ワークシートの記述

7 (本時)	1　先生たちがなりたかった職業についてのクイズに答える。 2　友と相談し合いながら自分がなりたい職業について書く。 3　グループでお互いのなりたい職業を読み合う。	○野球のコーチか。じゃあ，Y 先生かK 先生のどっちかだな。 ◎クイズの答えを当てるため内容を理解しようとするだろう。 ・写真や実物を用いて興味を持たせる。また，聞き取った内容の理解が確認できるようにモデル文として提示する。【全体】 ○～先生みたいに書ければいいな。 ○～君，～したいってどうやって言うんだっけ？教えて。 ◎マッピングでまとめた自分がなりたい職業について不定詞を用いたり Tool Box にため込んだ表現を用いて書くだろう。 ○～君の夢は医者なんだ。すごいな。～君，優しいからぴったりだと思う。 ○夢についてほめてくれた。うれしいな。 ◎友達の夢に興味を持ちながら読むだろう。 ・友のなりたい職業を読んで感じたことを，感想欄に書かせ，本人が読めるようにする。【グループ】	観察 ワークシートの記述
8	1　それぞれがなりたい職業についてクラスで伝え合う。	○～さんはしっかりした夢を持っていてうらやましいな。 ○みんなそれぞれが夢を叶えられたらいいな。 ◎友達がなりたい職業についての文を読んで，友達の新たな一面を知り，応援する気持ちが生まれるだろう。 ・友達の文を読んで感じたことを，伝えるようにする。【全体】	観察 ワークシートの記述

（4）　本時の展開

①本時の主眼

自分のなりたい職業について書く場面で，モデル文を参考にしたり友達のアドバイスを参考にしたりすることを通して，be going to や to 不定詞の３つの用法を用いたり because などの接続詞を用いたりしながら，自分のなりたい職業とその職業に就くためにしておきたいことや就けたらしたいことについて理由を加えながら相手に伝わるように書くことができる。　（「書くことの」指導事項（オ），単元の目標B－②について）

②　本時の位置　　（全　8　時間扱いの第　7　時）

前時　マッピングでまとめたことを表現するための言語材料を整理した。

次時　それぞれがなりたい職業について自分の考えや気持ちを伝え合う。

③　本時の展開

過程	学習活動	予想される生徒の反応（○）・姿（◎）　支援（・）	指導・評価	時間
導入	1　あいさつをする。 2　教師が子供の頃なりたかった職業についてクイズをする。 3　Today's Goal を確認する。	○大きな声であいさつをしよう。【全体】 ○先生たちみたいに自分も書けたらいいな。 ◎自分のなりたい職業について書きたいと言い出すだろう。【全体】 ○自分もなりたい職業を英語で書いてみたい。 ◎英語で書きだしたいという意見が出るだろう。	・大きな声であいさつをし，学習への雰囲気づくりをする。 ・教師が子供の頃なりたかった職業についてクイズ形式で導入し，モデル文として提示する。 ・数名の先生たちの写真を用いることでイメージしながら考えられるようにする。 ・生徒の言葉で Today's Goal を設定する。また，達成するために気をつけるポイントを確認する。	7
	Today's Goal：今までに習った表現や不定詞を使って，自分がなりたい職業について英語で書こう。			
展開	4　自分がなりたい職業について友達と相談し合いながら英語で書く。	○最初は I want to be ___.で書き出してみよう。 ○理由ってどうやって言うんだったっけ。 ・モデル文の中で使われている箇所を指摘させる。 ◎マッピングをもとに表現ガイドや単語リストを見ながら作文するだろう。【個人】	・マッピングをもとに表現ガイドや単語リストを見て確認するようにする。 ・表現について友達と相談し合いながら書いていくように促す。	15
	・既習表現や to 不定詞を用いて英文を書くことができる。 ・and, but, because, so などの接続詞を用いて文と文のつながりを意識して書くことができる。（観察・ワークシートの記述）			

展 開	5　グループでお互いのなりたい職業について書いた文を読み合う。	○～さんは，警察になりたいんだ。意外だな。 ○理由が色々書かれていて分かりやすかった。 ◎友達の文の中で，お互いの知らなかったことを知り新鮮に読み合うだろう。【グループ】	・時間を決めて，グループ内で書いた文を回し，全員が読めるようにする。 ・友達の夢について感じたことを感想欄に記入させる。	10
まとめ	6　友達の書いたなりたい職業についての作文を全体で共有する。 7　学習を振り返る。	○～くん，すごくたくさん書いたんだ。本当にその職業になりたいっていうのが伝わってくる。 ○恥ずかしかったけどみんなの前で発表できてよかった。達成感があるな。 ◎友達の発表ではいいところを見つけながら聞くことができるだろう。【全体】 ○しっかり I want to～.を使って文が作れた。 ○理由や目的を考えて書くことができた。 ○絶対になりたい職業に就きたいなと思った。そのために頑張りたい。【個人→全体】	・友達の書いた文を全体で共有することで，仲間の良さを認め合うことができるようにする。また，自分の英文についても振り返ることができるようにする。 ・発表ではしっかりと聞く姿勢を作るように促す。 ・本時の学習を振り返ることで，Today's Goal を達成できたか，また職業について考えを深められたか考えられるようにする。	8

（５）　**生徒の活動の様子**

生徒は前時にマッピングを用いて考えた自分のなりたい職業について、友と英語の表現について教え合いながら書く姿が見られた。

【T生の姿より】

これまでの英語の授業でのT生の姿からは、意欲的に書く活動に取り組もうとする姿は見られなかったが、自分にとって必要感のある題材に出会ったときT生は夢中になって書き出した。教師が書く活動が始まって数分後にT 生のワークシートをチェックすると周囲の生徒はまだ何も書けていない中で３文程度の英文を書いていた。更に教師に「先生、〇〇ってこういうふうに表現すればいい？」と確認する姿があった。そして、活動終了前にもう一度机間指導してみると、教師がアドバイスした英文をそのまま書くのではなく接続詞を変えて、自分の伝えたい内容にあうように書いてあった。

T生にとってサッカーは大好きなスポーツであり、サッカー選手になりたいという夢をもっていたT生にとってこの『My Future Job』という題材は、心が動く必要感のある伝えたいメッセージをたくさん書くことができる題材であったと考えられる。教師はT生の満足げな表情から、授業の中で書き上げることができ達成感を感じることができたのだと捉えた。

> I want to be a soccer playr (player). I started to play soccer seven years old. I want to be a No.1 soccer playr (player), so I'm going to practis (practice) soccer very head (hard). And I want to go abroad someday.　(T 生のワークシートより)

授業の振り返りで T 生は「自分の将来の夢のサッカー選手になりたい理由などを書くことができたのでよかった。」と書いた。また、「みんなの将来の夢もわかったのでよかった。色々な『夢』があったのですごいと思った。」『夢』について考えたり、友の『夢』を知ることを楽しんだりと、この単元を通して T 生は英語の書く力をつけるとともに、自分自身について考え、自分の考えや気持ちを表現する喜びを感じたと考える。

（６）　**考察**

小中連携と言われている中で、小学校の外国語活動で学んできた題材を、中学校では同じ題材があるのならば、どのように中学生の学習として発展的に授業を構想していったらよいのかという課題をもった。

小学校の外国語活動で、Hi, friends!では、『夢』について取り上げている。小学校の外国語活動では、話す活動として取り上げられている単元を、中学校ではキャリア教育に結びつけて『夢』について自分の考えや気持ちを加えながら書く授業を構想してみた。

中学生という成長過程の中で、『夢』や将来してみたいことについて、自分の考えや思いをもっていなかったり、自分の気持ちをなかなか表現しようとしなかったりする生徒の内面に配慮しながら授業を行ってみた。

生徒にとって『夢』という題材は難しいものであったが、文部科学省教科調査官の直山木綿子先生のご指導の中にも、中学校で『夢』について授業を構想するときにはキャリア教育とリンクさせて授業を行っていくことが良いというお話があった。職場体験等も行われる２年生での『夢』の授業は、自分の将来を考えたり、友と『夢』について伝え合い参考にしたりしながら、自分の将来をより具体的にさせていく上で有効であったように思う。

また、日本語ではなかなか照れくさくて言えないような『夢』やその理由を、英語では抵抗を感じずに書いたり話したりできるという生徒の声も聞かれた。

このように『夢』について、自分の考えや気持ちを付け加えて表現する学習は、より『夢』について内容が具体的に深まったものとなり、小学校の外国語活動を更に発展させた授業として構想できるのではないかと考えた。